

第4回

認証と
Webアプリケーションの
開発

大田 浩 *OTA, Hiroshi*
日本オラクル株式会社
Oracle Direct テクニカルサービスグループ

Webアプリケーションの
開発

今回作成するアプリケーションは、図1の部分になります。ECサイトを利用するユーザーが使用するWebアプリケーションです。

今回も、はじめに認証についての解説を行ないます。

■ フォーム認証について

今回はフォーム認証とWindows認証の2種類の認証方法について説明しま

した。

大きく分類すると、フォーム認証は社外にいるユーザーが利用するシステム、Windows認証は社内ユーザーが利用するシステムという分類ができます。今回は社外からのアクセスが前提となりますので、フォーム認証を使用します。

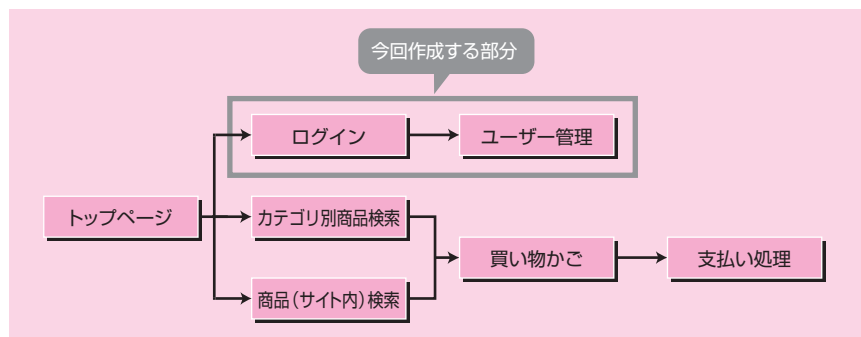
前回と同様にVisual Studio 2005（以下VS2005）からウィザードを利用してフォーム認証の設定を行ないます。

プロジェクトの作成と認証設定

VS2005からWebサイトのプロジェクトを新規に作成します。前回作成したWindowsアプリケーションの「ECAdmin」プロジェクトと、Webサービスの「wsEC」プロジェクトに新たにプロジェクトを追加します。VS2005メニューから「ファイル」-「新しいWebサイト」を選択し、表1の情報を入力します。

ソリューションに新しいプロジェクトが追加されたら、認証の設定を行な

図1：今回作成するアプリケーション



レベル >>> Level

1 2 3 4 5

ツール >>> Tool

- Visual Studio 2005 Professional
- Oracle Data Provider for .NET
- Oracle Developer Tools for Visual Studio .NET
- Oracle Database Extensions for .NET
- Oracle Services for Microsoft Transaction Server

言語 >>> Language

- Visual Basic
- C#
- PL/SQL

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoeisha.com/mag/windev/>
からダウンロード可能です。

表1：新しいWebサイトのプロジェクト情報

項目	入力/選択値
テンプレート	ASP.NET Web サイト
場所	ファイルシステム (C:\¥ECSite¥OrderSite)
言語	Visual Basic (または Visual C#)

うため、管理ツールを起動します。そのために、メニューから「Web サイト」-「ASP.NET構成」を選択してください。ブラウザが立ち上がり、Webサイト管理ツールが表示されます(図2)。

この中の「セキュリティ」リンクをクリックします。

「セキュリティ」タブが開くので、「手順に従ってセキュリティを構成するには、セキュリティ設定ウィザードを使用してください」のリンクをクリックします。

後はウィザードにしたがってゆきだけで、フォーム認証の設定は完了します。

注意すべき点は「ステップ2：アクセス方法の選択」において、「インターネットから」を選択することです(図3)。

ユーザー認証用の画面作成

フォーム認証の設定が完了したら、ログインフォームを作成します。

手順1 Webフォームの作成

ソリューションエクスプローラから「ECSite¥OrderSite」を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「新しい項目の追加」を選択します。「新しい項目の追加」ダイアログが表示されますので、表2のように入力し[追加] ボタンをクリックします。

手順2 ページレイアウトをデザイン

login.aspxが「ソース」モードで開き

図2：Webサイト管理ツール

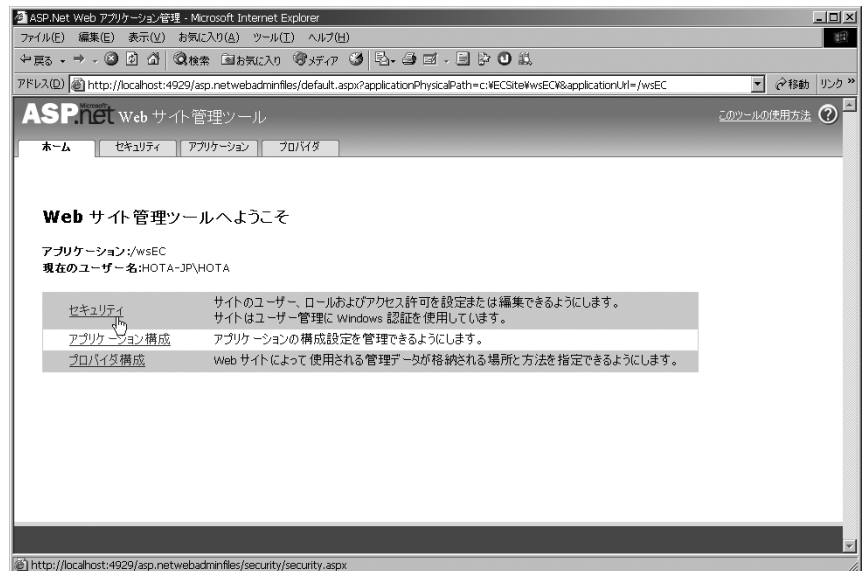
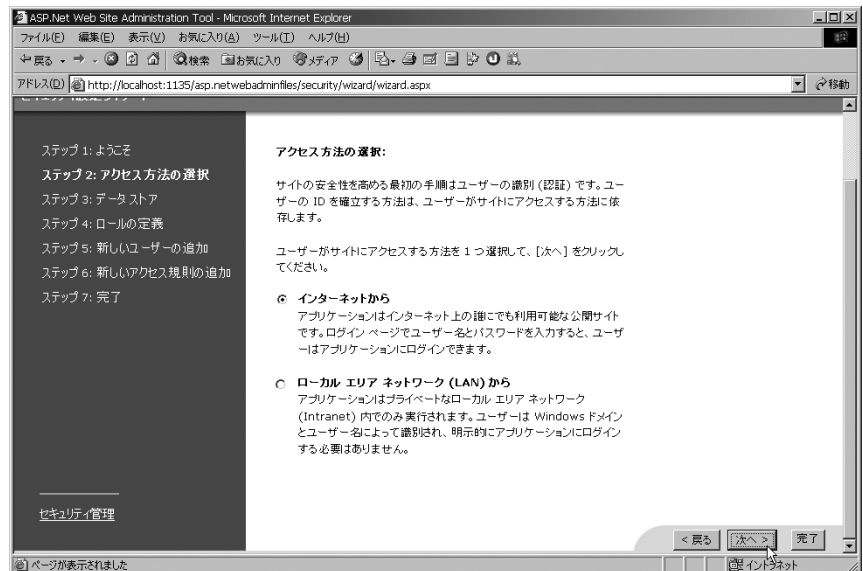


図3：アクセス方法の選択



ますので、ウィンドウ下部から「デザイン」タブを選択します。login.aspxがデザインモードで開かれたら、「Login」コントロールを配置してください(図4)。

「Login」コントロールの見栄えを変更してみましょう。コントロールのタスクメニューから、「オートフォーマット」を選択します(図5)。「スキームの選択」タブから今回は「プロフェッショナル」を選択し、[OK] ボタンをク

表2：ログイン用のWebフォーム作成

入力欄	入力情報
名前	login.aspx
言語	Visual Basic (あるいは Visual C#)

「別のファイルにコードを書き込む」をチェック。「マスタページを選択する」はチェックしません。

リックします。

以上でWebフォームのレイアウト作成は完了です。

次にログインロジックを記述します。